

白鳩保育園重要事項説明書

令和3年4月1日 現在

1 事業者

事業者の名称	社会福祉法人 福育会
代表者氏名	理事長 古賀 一郎
法人の所在地	福岡県福岡市中央区梅光園1丁目2番21号
法人の電話番号	092-712-1671
定款の目的に定めた事業	第2種社会福祉事業 保育所の経営

2 事業の目的

児童福祉法に基づいて、乳児及び幼児の保育事業を行うこと。

3 運営方針

- (1) 子どもの健康と安全を基本にして、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。
- (2) 子どもが健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
- (3) 豊かな人間性を持った子どもを育成する。

4 保育所の概要

名称	白鳩保育園
所在地	福岡県福岡市中央区梅光園1丁目2番21号
電話番号	092-712-1671
法人創立年月日	昭和49年 3月29日
事業認可年月日	昭和49年 8月 1日
施設長氏名	古賀 一郎
利用定員	0歳児 …10名 1・2歳児 …36名 3・4・5歳児…64名 計110名
職員数	28名
特別保育の実施状況	障がい児保育、延長保育（1時間・月曜～金曜の平日のみ実施）
職員への研修の実施状況	職種、経験に基づき各自の仕事のレベルを高めるために全ての常勤職員に実施
嘱託医	安藤小児科医院：福岡市中央区梅光園2丁目10番20号

5 開園日・開園時間及び休園日

開園日	月曜日から土曜日まで
開園時間	午前7時00分から午後6時00分まで
保育短時間の保育時間	午前8時30分から午後4時30分まで
休園日	日曜日、国民の祝日、休日、年末年始（12月29日から1月3日）

6 施設の概要

敷地面積	1,285㎡
建物	鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ床面積628.57㎡
施設の内容	乳児室・ほふく室 3室 面積121.64㎡ 調理室35.43㎡、 保育室・遊戯室 4室 面積184.8㎡ 調乳室 2.7㎡、乳幼児用トイレ 2箇所 屋外遊戯場656.43㎡

7 職員体制（令和2年4月1日現在）

職名	人数	職名	人数	職名	人数
園長	1人	主任保育士	1人	調理員	3人
副園長	1人	保育士	19人	嘱託医	1人
				保育補助員	2人

8 保護者の負担について

（1）保育料

保育料は福岡市が決定します。

（2）実費徴収

保育料のほかに、保護者にご負担いただくものとして以下のものがあります。

①絵本代等 毎月350～780円程度（年度やクラスにより異なります）

②道具代（粘土、はさみなど） 600円～20,000円程度 1歳児以上
（年度やクラスにより異なります）

③主食費 毎月1,000円 3歳（うめ組）以上児

④副食費 毎月4,500円 3歳（うめ組）以上児

⑤貸布おむつ代 1枚21円 おむつを必要とする子ども（2,000円程度～7,000円程度）

⑥ふとん乾燥費 毎月540円 午睡を行う子ども

⑦上記のほか、園外保育（遠足）のバス代など必要な実費については、随時お知らせします。

（3）延長保育料

月ぎめ4,500円 緊急（単発）10分1単位100円

（土曜日18：00以降の延長保育はいずれもありません）

9 給食について

当園の給食の方針	保育園の給食は、基本的に福岡市所轄課の作成する基準献立に準拠して調理・配膳します。食材については、可能な限り国産品を調達する努力をしております。
昼食・おやつ	保護者の方へは、毎月末に翌月の献立表をお配りします。
アレルギー等への対応	アレルギーが疑われる場合、医師の診断書（又は指示書）を保育園に提出してください。個別にご相談の上、診断書（又は指示書）に基づき当園で除去可能な物は除去食・代替食で対応致します。

10 年間行事予定（令和2年度）

月	行事内容
4月	園児健康診断 クラス懇談会
5月	歓迎遠足(保護者同伴)
6月	歯科健診
7月	プール開き
8月	同窓会
10月	運動会 個人懇談
11月	園児健康診断 保育参加
12月	おもちつき
2月	生活発表会 保育参観 クラス懇談会
3月	お別れ会 卒園式
◎毎月の行事： 身体測定・誕生会・避難訓練	

11. 利用の終了に関する事項

白鳩保育園は、以下の場合には保育の提供を終了いたします。

- (1) 利用乳幼児が小学校に修学したとき
- (2) 児童の保護者が、児童福祉法または子ども・子育て支援法に定める支給要件に該当しなくなった時
- (3) その他、利用の継続について重大な支障又は困難が生じたとき

※ 保育の特徴

白鳩保育園の子ども達は、暑い季節には園庭で真っ黒に日焼けしながら泥んこ遊びに夢中になり、寒い季節にはかけっこや鬼ごっこなど思う存分身体を動かして遊ぶなど、季節の移り変わりの中でたくさんの喜びや葛藤、成功と失敗を繰り返しながら、少々の怪我など気にせずのびのびと生活しています。乳幼児期に最も大切なことは、信頼できる特定の人(保育園では保育士)との心のつながりを基本とした安定した生活の中で、自分の存在と他人の存在を相互に確立させながら、人と関わることの楽しさと厳しさを体験することと当園では考えております。そして小学校入学の時点では、自分も他人もある程度尊重できるようになることが望ましい発達であり、小学校での意欲ある生活にもつながります。しかしこれには非常に多くの時間が必要であり、時間を掛けなければいけないものです。そのため、乳幼児期の生活に直接必要のない教科教育(文字・数・英語等の勉強)や特殊な技能(鼓笛隊や水泳等)の習得に係る時間は当園ではとっておりません。

その点を十分にご理解のうえで、入園の検討をお願い致します。